

進路だより 第8号



令和4年 12 月

愛媛県立北宇和高等学校

～次のステージに進む準備を～

3学期はよく「0学期」とも呼ばれます。1年生は「2年0学期」、2年生は「3年0学期」。つまり、3学期は「次のステージへの準備期間」となるのです。

自分の進むべき道はどこにあるのか。自分と向き合う時間を持ち、できる限りの情報を収集しておきましょう。1、2年生は、まずは進路研究を！受験科目や小論文、面接の有無を調べ、早期対策をしましょう！

さらに、長期休業中は今しかできない良い経験を積む絶好の機会です。自分の視野を広げるため、自分を成長させるため、新しいことに挑戦したり、ボランティアや地域の行事に参加したりしましょう。

12月・1月の進路関係行事予定

12月21日（水）～28日（水）	課外授業、補習授業（全学年）
1月10日（火）	進路希望調査（1・2年生）
1月14日（土）～15日（日）	大学入試共通テスト
1月14日（土）～15日（日）	進研模試（1・2年生）
1月28日（土）	県学力テスト（1・2年生）



成功体験の積み重ね ～スモールステップの実践を～

以前、ある研修会に参加した際、「小さな目標の達成」を積み重ねることが「自信」につながると教えていただきました。もちろん、ゴールとなる大きな目標は必要です。しかし、大きな目標を達成するためには時間もかかりますし、乗り越えるべき壁もあります。ここで心が折れてしまう人も多いそうです。まず初めは、「ちょっと頑張ればできる」という目標が良いのではないのでしょうか。「できた」という経験を少しずつ積み重ねていけば、目標達成につながるはずです。

例)「英単語帳1冊をマスターする」という大きな目標を立てた場合

Aさん：何も決めず、1日目は意気込んで30ページ進めました。

Bさん：「1日3ページずつ進め、○日後に見直す」というスモールステップを作りました。

さて、どちらが長続きしそうでしょうか。

大切なことは継続することです。自分に合った目標はあなたにしか分からないので、修正しつつ「やったらできた」という達成感を大切にしましょう。

3学期に向けて ～ 社会人基礎力 & 受験合格力 を身に付けよう ～

「英・数・国の基礎固め」、「苦手教科の克服」、「受験対策」へと学年が進むにつれ、取り組むべき学習内容が変わってきます。ここでの頑張りが皆さんの将来を左右します。もちろん、学習は受験のためだけではありません。幅広い教養を身に付け、社会人としての基礎力を身に付けられれば、仕事にもつながっていきます。さあ、これまでの自分を超えられるよう努力しよう。

模試では“どの教科・分野で、あと何点”を追求せよ！

(以下の文は、マナビジョン「偏差値を気にしすぎるとソンする理由」より引用しました。)

偏差値とは、簡単に言うと“全受験者の中でのキミの位置”。相対的にキミの学力レベルを表す指標だから、「現在地」を把握する意味ではかなり役立つ。でも逆に言えば「現在地」さえ把握してしまえば、後はもう特に気にする必要はない。

ゴール(=合格)に近づくために重要なのは、現在地からの「道筋」だ。高2の秋を迎えたここからは、今まで以上に本気で成績UPをめざしたい。現在地を押さえたら、できるだけ早く「道筋」に目を向けよう。偏差値を見て頭を抱えているヒマはないぞ！

志望校合格に向けて、模試の成績表を本気で役立てていくためのポイントは二つ。

1 偏差値で自分の「現在地」をサッと確認

ここにかける時間は30秒、いや10秒でも十分！ただし志望校登録をした、ほかにも気になる大学があれば「合格可能性偏差値」は早めに見ておこう。現在地のより正確な把握に役立つぞ。

2 “どの教科・分野をあと何点伸ばすべきか”を追求

この「道筋」こそ模試の成績表で真に注目すべきポイント！この追求が、キミを最短ルートで確実に、あこがれの志望校へと導いてくれる。

偏差値を見てへこんでいる時間ももったいない。それなら1秒でも早く次に進むべき具体的な「道筋」をつかむこと！模試の成績表はキミのミカタ次第で、あこがれの大学合格に向けた最強のミカタになってくれるのだ。

入試対策 『One Team』～最後の一人が合格するまで、チーム戦！～



今年度の大学入試共通テストは、1月14日(土)・15日(日)に行われます。早いもので、残すところあと約1か月となりました。本校の受験生も先生方とともに対策に励んでいます。その他にも一般入試に挑戦する3年生は、年越しも年明けも勉強三昧の日々を送ることと思います。どうか、体調を崩さないよう睡眠と栄養のバランスには気をつけてください。

「練習は本番のように。本番は練習のように。」まずは本番と同様の環境を整え、長時間の試験形態に慣れましょう。そのために、冬休み中に同じ日程で実践問題を解くことをお勧めします。

進路が決まった人は、最後の一人が合格するまで **One Team** でサポートしていきましょう。

挽回したい！成績アップに必要なこと

悩み① 実際のテストになると自分の思うように問題が解けない。



先輩の回答① **まずは原因を特定して、焦らず学習を続けよう。**

1. 基礎ができていないのか？
解説を深く読み込もう。単なる暗記ではなく「理解」できる。
2. 演習が足りないのか？
3. 焦りなのか？時間配分ミスなのか？たまたまなのか？

先輩の回答② **「わかっているつもり」を回避しよう。**

1. 予習の時点で、わからない場所をはっきりさせておく。
ヒントを見ず、自分で考える。何が分からないかをメモする。
2. こまめに演習形式で復習
解答の理由も考える。
3. 友人と教え合い、理解度チェック



悩み② 時間の使い方はどうすればいい？



先輩の回答① **勉強は量より質。集中&効率を重視しよう。**

1. 勉強内容の見える化
今日やるべき分野や到達目標を具体的にリストアップして、状況確認する。
2. 時間を決めて勉強する。

(マナビジョン「とにかく挽回したい！成績アップに必要なこと」参照)

小論文対策

小論文は、早いうちから対策を取ることが、成功への鍵です。

1年生のうちから新聞スクラップをして大切なところに線を引きましょう。小論文のタネを育て、自分の意見を持つ練習も必要です。1年生のうちに語彙力を身に付けることも大切です。

2年生になると模試を積極的に受け、見直しましょう。自己PRや小論文を添削してもらったり、他者の良い文例を読んだりすることも勉強になります。

3年生は志望校の傾向を分析し、構成を意識しながら、できるだけ多く書きましょう。模試の時にももらった冊子を活用すると良いと思います。

詳しくは「進路の手引き」を参考にしてください。



📖 面接の準備・練習

ぶっつけ本番でうまくいく人はほとんどいないと思います。今から「面接ノート」を準備しましょう。理想は「1質問：見開き1P」です。なぜなら何度も推敲するからです。

まず、「よく聞かれる質問」から準備を始めます。「①志望理由」、「②自己PR」、「③高校時代に頑張ったこと」、「④長所や短所」などです。書けるところからでかまいません。自己分析をしながら、徐々に書けるようにしていきましょう。ただし、完璧な原稿を準備して暗記することは、あまりお勧めしません。(以前、棒読みになってしまい、気持ちが伝わってこない人がいました。また、本番途中で頭の中が真っ白になることも予想されます。)ですので、キーワードだけを覚え、それを頼りに「つなげ、伝える」という練習をしましょう。

そして、進路資料室には「受験報告書」があり、先輩方が貴重な情報を残してくれています。過去にどのような質問がされたのかを調査し、分析しましょう。それが出来れば、次は実践練習です。先生に面接官役をお願いに行きましょう。(少なくとも前日までにアポイントをとることは忘れずに。)友人とチームを作って練習するのも効果があります。

最近では、「よく聞かれる質問」を避ける学校や企業もあるそうです。思いもよらない質問を投げかけて、受験生の「素」の姿を見ようというのでしょうか。それらも考慮し、面接対策は様々な視点から取り組む必要があるのです。

📖 面接での伝え方

○好印象を与える態度

good	bad
<ul style="list-style-type: none">・明るい挨拶や笑顔・ハキハキとした受け答え・礼儀正しさや正しい言葉遣い・時間や約束の厳守・積極性、思いやり	<ul style="list-style-type: none">・暗い表情・言葉が聞き取りにくい・話し言葉・時間に遅れる、約束を破る・消極的、自己中心的

○応答はKRを意識しよう



①結論を先に述べることで、論点がズレず、相手にも話が伝わりやすくなります。

②そして、その後に理由を付け足せば、相手への説得力を高めることができるわけです。

※詳細は各クラスに掲示されるプリントで確認しましょう。

皆さんに幸あれ！



